

政策立案で連携強化

小浜市、京都橘大と包括的協定

今春職員が大学院入学

小浜市と京都橘大(京都市)が29日、包括的連携協定を締結した。同大学院に市職員が入学、市役所などに学生のインターンシップを受け入れる。また学生が同市内をフィールドワークして研究した成果を、市の政策へ提言するなど密接に連携していく。



「京都橘大学と小浜市との包括的連携に関する協定」締結式

締結。松崎晃治市長が同講義したり、学生が市内大でまちづくりについてフィールドワークした

りしてきた。連携をさらに深めようと今回、包括的連携協定を締結した。同市が大学と同様の連携を結ぶのは福井大、県立大に続き3例目。今後も松崎市長の講義、学生のフィールドワークを続ける一方、大学側がまちづくりに関し市に提案したり、市の政策立案、事業運営をサポートしたりする。今春、市の20代男性職員が同大学院へ入学し、公共施設……

市内でインターンシップを受け入れるほか、同大大学祭に市側が出席し、同大の地元、京都市山科区民らにも小浜をPRする。

締結式で松崎市長は「年々、交流活動の内容が広がっている。政策に提言してもらうなど、地域の発展につなげていきたい」とあいさつ。同大の細川涼一学長は「京都と小浜は古くから文化的交流があった。今後もお連携を深めたい」と述べた。

(佐々木哲也)

所 学長 29日、小浜市役